

ぎかいのトビ ラ



【特集】市民インタビュー

放課後の安全な居場所を 年齢を超えたつながりを育む

放課後子ども教室「はむらっ子広場」 P2

No.144

令和5年(2023年)
11月1日発行
(通巻253号)

●令和4年度決算審査	P4
●審議した主な議案	
市長提出議案	P10
●議案の議決結果	P12
●市政について問う	
《一般質問》	P14
●議会活動報告	P23

放

課後の安全な居場所を

年齢を超えたつながりを育む

放課後子ども教室「はむらっ子広場」

放課後子ども教室「はむらっ子広場」は、市内の全小学校で開室しており、放課後の子供たちの安全な居場所として、子供たちの活動をサポートしています。指導員とボランティアで運営しており、遊びや宿題の支援など、各学校で独自の事業を展開しています。今回は指導員の方にお話を伺いました。

市内には、さまざまな活動を通じて市民の暮らしを支えている方が大勢います。議会として、そのような方々の活動を知り、また市民の皆さんにもご紹介しながら、議会の役割を考えていきたいと思えます。今回は文教厚生委員会が担当しました。

【表紙の写真】(令和5年9月撮影)
放課後子ども教室での様子
(栄小学校、小作台小学校にて)

※写真撮影時のみ、マスクをはずしています。



▲指導員の話聞く子供たち



▲一緒に外遊びをしながら見守りを行います

「はむらっ子広場」の活動とは

須田 進午さん(小作台小学校)



子供たちは、宿題を30分程度行った後、工作や外遊びなど、

自由に楽しんで活動をしています。指導員は仲間に入り遊びつつ、全体の見守りを行っています。学校とは違い、時間割などの時間の管理はありません。

石黒 奈保美さん(武蔵野小学校)



カリキュラムもなく、伸び伸びと活動しています。3月までは松林小学校の担当で、そこではプラザと称し、イベントなども実施していました。

活動を始めたきっかけは

岡田 朗さん(富士見小学校)



昨年退職し、地域に根ざした仕事をしたいと思ひ、応募しました。7月に着任したばかりです。

北上 一郎さん(羽村西小学校)



子供が好きなんです。区立体育館で子ども剣道などの運営の仕事をしていて、退職後、放課後子ども教室の存在を知り、ハローワークで応募しました。



▲子供たちの宿題、遊びの見守りを行います

各校での子供たちとの

関わり方を教えてください

佐久間 由幸さん(羽村東小学校)



けんかをして
も謝れない、言
葉遣いが良くない
子もいます。

子供たち一人一人と話をし、何が
したいか、何を考えているか聞く
ようにしています。

八幡 悦子さん(栄小学校)



開室前に事務
室と職員室に必
ず顔を出し、先
生から聞き取っ

た情報を開室時の「始めの会」のよ
うなもので子供たちに注意事項と
して説明しています。先生と違っ
た立場で子供たちにアプローチで
きていると思います。

嵯峨 敬子さん(松林小学校)



「心と体の安
心安全を守り、
それをみんな
協力して作り上

げよう」と約束しました。問題が
あった時は全体で話し合い、みん
なで解決していく場になっています。

活動をしている中で

心がけていることは

八幡 学校施設を借りているので、
学校との連携を密にしています。

嵯峨 話し合いの時は子供たちが
多く発言できる雰囲気づくりに努
めています。発言が少ない子から
深い考えが出てくることもあり、
驚いています。

岡田 事故が起きないように、指導
員が連携し、子供たちが納得して、
ルールを守ってもらえるような指
導を心がけています。

石黒 今は共働きが当たり前で、
子供たちの放課後の居場所づくり
が必要です。子供たちの考え方や
環境も変わっている現状を踏まえ
て向き合っていきたいですね。

佐久間 曜日によって指導員が違
うので、他の曜日の指導員との連
携を図っていくことです。

「はむらっ子広場」の良さ、
やりがいを教えてください

須田 1年生から6年生まで参加
しているので、学年を超えた子供
同士の交流ができ、指導員などの
大人とも接することのできるこ
とが良さだと思っています。

北上 子供と仲良くなれたことが
一番のやりがいですね。学校外で
も声をかけてくれます。「また遊
んでね」と言われるとすごく嬉し
いです。

今後の方向性、目標は？

北上 けんかの仲裁や指導などを
上手くできるようにしたいですね。
1年生が6年生にあげられ抱き、
楽しく活動しているので、そうし
たつながりが増える場を考えたい
です。

嵯峨 羽村高等学校の生徒がボラ
ンティアとして参加しているので、
交流を大事にしたいです。地域全

体での交流を作っていけたらな
と思っています。

岡田 子供たちを安全にきちんと
見守ることを他の指導員と一緒に
実施していきたいです。

北上 子供は面白い発想がいっぱ
いあり、そうした発想を引き出せ
たら素晴らしいと思います。

須田 子供同士のつながりを増や
し、良いことはよく褒め、安全管
理に努めていきたいですね。

佐久間 やはり、楽しく安心して
過ごせる居場所づくりが目標です。

八幡 ボランティアの方とも協力
しながら、子供たちにとって楽し
く安全な教室を引き続き運営でき
たらと思っています。

放課後子ども教室

- ※**団体構成** コーディネーター2人、主任指
導員7人(小学校ごとに1人)、指
導員32人、ボランティア14人
- ※**対象** 小学校1年生から6年生まで
- ※**会費** 無料
- ※**開室日** 週2日(曜日は学校ごとに異なり
ます)
- ※**連絡先** 生涯学習推進課(生涯学習センタ
ーゆとろぎ) 042-570-0707

インタビューを終えて

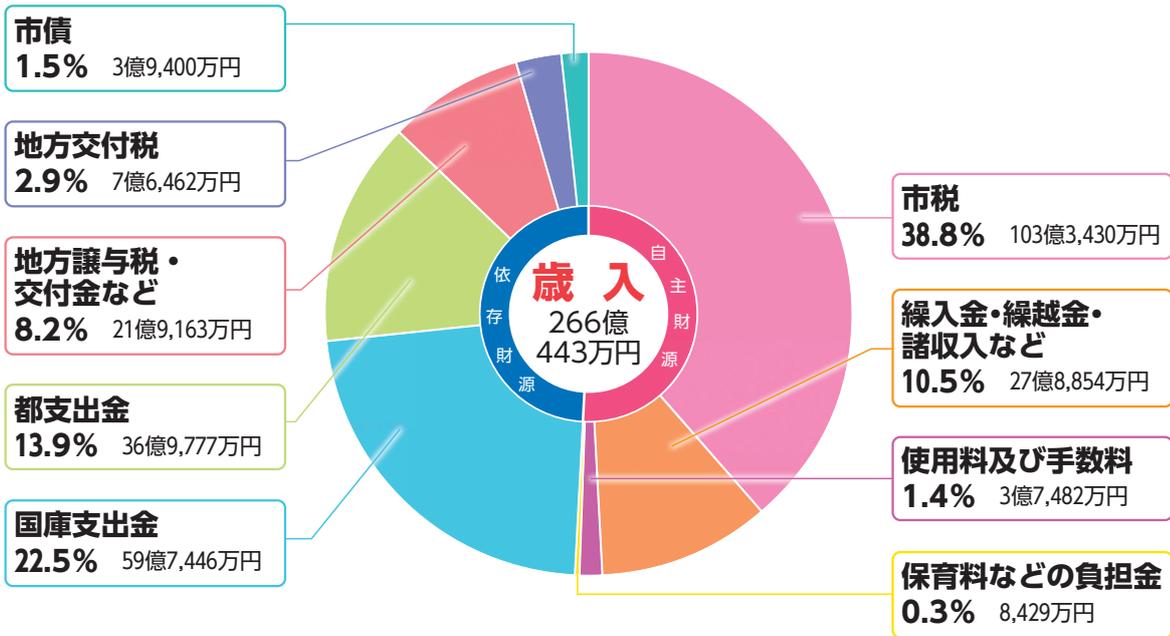
指導員、ボランティアの皆さんは、子供
たちが健やかに育つことを強く願って、地
域の方々や関係者と力を合わせて、子供た
ちに励ましの言葉をかけ工夫されているこ
とが、ひしひしと伝わり、温かい気持ちに
なりました。オール羽村で「はむらっ子広場」
を応援したいと思います。

お忙しいところご協力いただき、
ありがとうございました。

9月20日～22日の3日間にわたり、令和4年度一般会計等決算審査特別委員会を開催しました。（濱中俊男委員長、石居尚郎副委員長）

市長から提出された前年度の一般会計、特別会計および公営企業会計の決算の認定に係る議案について審査し、すべての会計の決算を認定すべきと決定しました。審査結果を9月29日の本会議で報告し、7つの会計すべてを認定しました。

特別委員会での審査の概要をお知らせします。



一般会計歳入

委員の質疑

一般会計歳入

- Q** 市民税が増加した理由は。
- A** 個人事業主への新型コロナウイルス感染症に関する協力金などで個人所得が増えたことや、製造業を中心に業績が好調な企業が見られたことが理由と捉えている。
- Q** 不納欠損額が縮減している。どのような徴税努力を行ったか。
- A** 電話催告や電子化による預貯金の調査の強化のほか、職員の研修参加などによりスキルを高めるなど努力を重ねている。
- Q** 償却資産の固定資産税の調定額が減少した。どう積算したか。
- A** 企業訪問や上位50社の企業にアンケート調査を行い積算している。
- 令和4年度は想定よりも設備投資の額が伸びなかった結果である。
- Q** 国の財源不足により地方交付税の不足分の一部を市債として一時借入する臨時財政対策債の元利償還は国が補填するのか。
- A** 市の財政運営に支障が生じない制度であると認識している。

令和4年度会計別決算状況

(単位：万円)

区分	予算現額	歳入決算額 (実際の収入)	収入率 (予算現額に 対する歳入の 割合)	歳出決算額 (実際の支出)	執行率 (予算現額に 対する歳出の 割合)	歳入歳出 差引額	
一般会計	2,731,769	2,660,443	97.4%	2,541,899	93.0%	118,544	
特別会計	国民健康保険事業	589,159	578,748	98.2%	559,938	95.0%	18,810
	後期高齢者医療	151,117	150,849	99.8%	149,319	98.8%	1,530
	介護保険事業	409,506	404,647	98.8%	394,328	96.3%	10,319
	羽村駅西口土地区画整理事業	161,421	140,622	87.1%	135,694	84.1%	4,928

令和4年度の決算を認定しました

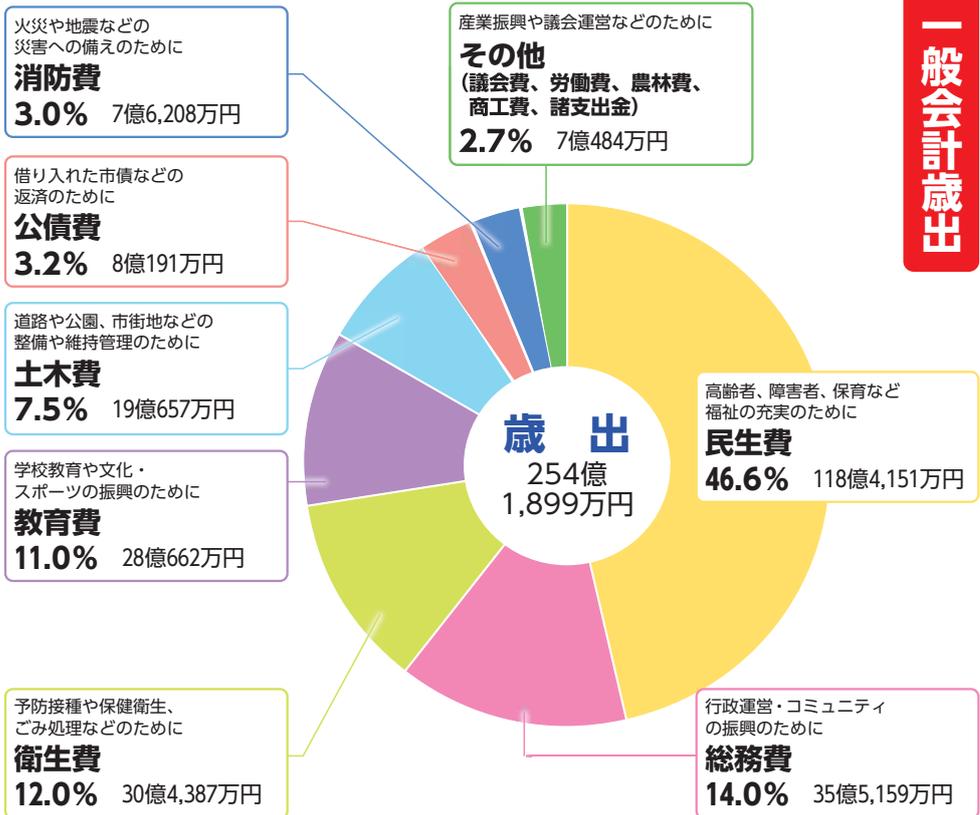
経常収支比率は前年度比4.2%増の95.6%

持続可能な財政運営に努めた

第六次長期総合計画の初年度決算

歳入は、物価高など厳しい収納環境が見込まれる中、滞納整理に取組み、
収納率は前年度と同率の98.4%となり、市税も増加した。
歳出は、新型コロナウイルス感染症対策事業や燃料価格・物価高騰対策
事業に伴う経費の増により、増加した。

前年度と比較して
歳入は0.2%、歳出は1.2%増加



一般会計歳出

監査委員から

決算の認定にあたっては地方自治法に基づき、監査委員からの審査意見が付されています。



左：渡辺 晃 代表監査委員、
右：中嶋 勝 監査委員（議員選出）

それぞれの歳入歳出決算書、付属書類が法令に準拠して作成されているか、予算の執行は適切だったかなどを審査しました。

- 意見①** 職員が厳しい目と高い意識を持ち事務事業を適正に執行していくよう、内部統制制度の導入に向け、早急に具体的な検討を。
- 意見②** 財政構造の硬直化が改善・是正がされていない状況。厳しい財政状況を市民に丁寧に公表し、市民・事業者・議会が現状を共有し一体となり、行財政改革を。
- 意見③** 新地方公会計制度の理解度を深め、早期の有効活用と定着を。

一般会計歳出

行財政

- Q** 職員の超過勤務を減らすため、業務の見直しにどう取り組んだか。
- A** 業務のデジタル化や事業の一部外部委託を進めた。
- Q** ウクライナ避難民支援の実施状況は。
- A** 一世帯3人の方が避難しており、サポートカードによる支援やスマートフォンが無償貸与を行った。
- Q** 改訂した羽村市職員行動指針・接遇マニュアルを職員へ徹底するための具体的な取組みは。
- A** 全職員対象の研修で内容を説明したほか、パソコンのデスクトップ画面や名刺に行動指針のデザインが使用できるようにしている。
- Q** 地域人権啓発活動活性化事業の具体的な内容は。
- A** 「子どもからの人権メッセージ発表会」をプリモホールゆとろぎで開催した。
- Q** 公共施設等の整理統合・集約化・複合化への検討内容は。
- A** 令和5年度中に公共施設等総合管理計画を改定する予定であり、整理統合の検討手法を見直していく。公共施設の再配置を施設ごとだけでなく、全体的な整理統合の中で検討することを考えている。
- Q** 附属機関としての審議会等の女性委員の割合が23・8パーセントと低い。女性委員が0人の審議会もあるが、改善の取組みは。
- A** 関係団体へ所管部署から依頼する際、女性の参画を検討いただくよう依頼している。



カードの提示により、さまざまなサービスが受けられる



デスクトップ画面に使用した羽村市職員行動指針のデザインロゴ



子どもからの人権メッセージ発表会

委員の討論(一般会計)

一般会計については、6件の討論があり、採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。

●討論とは…本会議や委員会で、表決の前に、議題となっている案件について、賛成か反対の意見を表明することをいいます。

賛成

財産収入の確保と行財政改革を評価

市民税は新型コロナウイルス感染症に関する協力金、助成金、補助金等の影響で増額となっている。厳しい収納環境の中、収納率を維持し市有地の売却等で財産収入を確保したこと等を高く評価している。歳出は新型コロナウイルス感染症対策に尽力し、行財政改革に取り組んだことを評価している。新公会計制度の活用、内部統制の導入等の検討を早急に進めてもらいたい。

<令和かがやき>

賛成

市民、事業者を守る感染症対策施策を評価

令和4年度は、第六次長期総合計画の重要な初年度であった。人口減少・少子高齢化施策をはじめ、感染症対策や物価高騰対策などで、市民、事業者を守る真摯な取組みを、適宜実施したことを評価する。今後も財政健全化、住民福祉の増進に向け、共に考えながら、さらなる前進と、質の高い行財政運営を期待し、賛成。

<公明党>

賛成

健全な財政運営と住民福祉の増進を期待

経常収支比率は引き続き90パーセント台となり、財政の硬直化が課題となっているが、このような財政状況を踏まえ行財政改革に取り組みつ、第六次長期総合計画に沿って市政を前に進めたことを評価する。今後も健全な財政運営や住民福祉の増進に努めること、行財政改革にあたっては市民や議会の声を真摯に受け止めることを期待する。

<新政会>

- Q** 入札契約件数と平均落札率は、制限付き一般競争入札3件、92・6パーセント、指名競争入札103件、92・8パーセント、随意契約276件、94・6パーセント、特命随意契約332件、99・8パーセント、合計714件、95・6パーセントである。
- 福祉・健康**
- Q** 自立支援医療(育成医療)助成に関する執行率が低かったが、制度の周知は徹底されているのか。
- A** 市公式サイトでの周知のほか、相談があった際は、事業の説明や申請方法をご案内している。
- Q** 多言語翻訳システムを活用した子育て相談の件数は。
- A** 外国語の相談が16件、日本語の手話の利用が3件である。



一時的な育児補助などを行う養育支援訪問事業のチラシ



救急医療情報キット



消防団出初式

- Q** 養育支援訪問事業の執行率が低かった要因は。
- A** コロナ禍で利用を控えた影響と考えている。
- Q** 令和4年度の救急医療情報キットの配布状況は。
- A** 友愛訪問員が訪問している世帯や救急通報システムの利用者等に配布し、新規に4人に配布を行った。
- Q** 民生委員・児童委員の欠員による影響とその対策は。
- A** 福祉支援や住民へのサポートの部分に影響がある。町内会を通じて、委員候補の情報提供をお願いしており、また、委員活動の負担軽減に向けた検討を考えている。
- 安全・安心**
- Q** 消防団運営交付金はどのようなことに利用されたか。

賛成

西口地区都市基盤整備の検討を評価

厳しい財政下、歳入が266億円で歳出が254億円で約12億円の黒字決算となった。ふるさと納税収入391万円に対し、羽村市民による他自治体への寄付は2億3410万円であり、首都圏自治体としては発想の転換が必要である。区画整理事業会計への繰出金は、移転の先送り等で減少。検証会議の提言を受けた「西口地区の都市基盤整備に関する基本方針」に基づく事業の検討を評価する。 <世論>

賛成

さまざまな事業への取組みを評価

羽村駅西口土地区画整理事業の検証を実施したこと、学校トイレの洋式化や校舎防水工事の実施、横断歩道橋の撤去など老朽化した道路・施設の維持・補修の実施、多様性への理解促進など男女共同参画の実施、組織を挙げて新型コロナウイルスワクチン接種に取り組んだことを評価する。

<市民ネットワーク>

賛成

市民ニーズに応じた事業の実施を評価

これまで聖域化されてきた羽村駅西口土地区画整理事業を検証したことは評価できる。学校施設の改修、市道補修工事など、市民ニーズに応じた事業も行われた。一方、小・中学校の移動教室・修学旅行では、補助金を減額する際に、保護者負担は増やさないと言われてきたが、実際には増えた。こうした課題の改善にさらなる努力を求める。

<日本共産党>



A 要綱では具体的な内容まで規定されていないが、分団の活動上、必要なものに利用されたと認識している。

■くらし

Q 農家に対する肥料等購入費助成制度の利用者が少ない理由は。

A ヒアリングや丁寧な周知、説明に努めたが、同種の他機関の制度を利用するなどがいたため、予算計上で見込んだ件数を下回った。

Q 遊びクリエイター、児童館コーディネーターの業務内容は。

A 遊びクリエイターは各種講座などの企画・運営、安全管理、コーディネーターはこれらに加え、児童館の管理業務を行っている。

Q 導入した公園台帳等管理システムのの内容は。



市内農家への肥料等購入助成制度を実施（イメージ）



市内児童館（中央児童館）



指定管理者が管理を行う市内の公園



令和5年1月から始まった図書の宅配サービス

A 業務効率化のため、市民からの要望等を記載する公園台帳をデジタル化した。市内公園の指定管理者との迅速な情報共有・対応が可能になった。

Q し尿処理に関する経費が増額した理由は。

A 令和4年度に施設の定期点検を行ったためである。

■教育

Q 特別支援学級の学習環境の充実に向けた取組みは。

A 特別支援教育助員の配置や教授用備品の購入・設置による望ましい教室環境の整備、発達障害を含めた特別支援教育に関する教員等への研修を行っている。

Q 学校における働き方改革の効果は。

A 働き方改革推進委員会において、年次有給休暇の取得率の向上や学校の業務のスリム化など、具体的な対策を共有し、他校でも実践することで、改革を図ることができた。

Q 新たに始まった図書の宅配サービスの周知方法は。

A 広報はむらへの掲載や図書館内でのポスター掲示、閉鎖する三分室の利用者へのチラシ配布などを行った。

Q 小・中学校の校外学習・修学旅行への補助金を減額した際、内容を見直し、保護者負担は増やさないと答弁があったが、実際は。

A 感染症対策のため部屋ごとの人数制限等を設けたため、保護者負担は増える結果となった。

特別会計・公営企業会計

■国民健康保険事業会計

Q 徴税事務がDX化した効果は。

A 滞納整理分析業務、預貯金調査のワンストップ化、AI対話の自動電話催告により、事務時間削減効果があった。

Q 保険税を滞納した際に発行する短期被保険者証、資格証明書の発行数はどう推移したか。

A 令和3年4月1日時点から令和5年4月1日時点では、短期被保険者証は15世帯から8世帯、資格保険証は49世帯から18世帯に減少している。

■介護保険事業会計

Q 介護予防住宅改修を行った件数とその内容は。

A 手すりの設置や段差の解消、床や扉の交換など、61件の住宅改修を行った。

Q 施設入所待機者数は何人か。前年度と比べ、増減はどうか。

A 特別養護老人ホームは82人で6人減少、介護老人保健施設は6人で3人減少となっている。

■羽村駅西口土地区画整理事業会計

Q 埋蔵文化財調査が1か月延長したことによる、移転への影響は。
A 6棟の土地の返地が遅れている。ご理解ご協力を得ながら、進めている。

Q 支出した委託事務費26億円の内訳と諸経費の内容は。

A 都市づくり公社への実質的経費分の事務費は17億4000万円であり、諸経費は、庶務、経理などの間接部門への人件費や物件費等である。

■水道事業会計

Q 管路の耐震化の進捗状況は。

A 6・57パーセントの進捗であり、対前年比では1・39ポイントの増である。

Q 東京都内の進捗率は。

A 市単独で水道事業を行う武蔵野市は48・7パーセント、昭島市は36・5パーセント、東京都の平均は令和3年度末で48パーセント

である。

Q 市の進捗が遅れることによる漏水などに、どう対応するか。

A 令和4年度に経年劣化により生じた大きな漏水箇所については、令和5年度に管種替え工事を行うこととなっている。現地、漏水状況等を確認し、事業を進めていく。

■下水道事業会計

Q 不明水が増えている。ゲリラ豪雨が多発する中、雨天時浸入水に対して、どのような対策をしたか。

A 市公式サイトや広報はむらで、雨天時のお願いととして、大雨が降る前に屋外の流しにふたをしてもらうよう呼びかけた。

Q 近隣市と比較して、雨水管の整備の進捗状況はどうか。

A 羽村市が55パーセントに対し、福生市は56パーセント、青梅市が49・8パーセント、瑞穂町が45・2パーセントであり、近隣市と同等と捉えている。

※内容は要約しています。詳細は会議録をご覧ください。

インターネットで会議録をご覧になる場合は、「羽村市議会」→「会議録の検索と閲覧」→「令和4年度一般会計等決算審査特別委員会」

国民健康保険事業会計、羽村駅西口土地区画整理事業会計にはそれぞれ討論がありました。その他の会計については、反対・賛成の討論はなく、全会一致で認定すべきと決定しました。

委員の討論
(羽村駅西口土地区画整理事業会計)

賛成

計画的で効率的な事業推進を

令和4年度の決算は業務委託費の工事費と補償費が、昨年度に続き減少した。これは、関係権利者に寄り添った移転協議の結果、負担軽減が図られたものと理解できる。また、羽村東小学校防火水槽の更新により防災面の向上も図られた。厳しい財政状況下、優先順位をつけ、計画的で効率的な事業推進に期待し、賛成。

<新公会>

反対

事業の即刻の見直しを期待

広い道路を通すため436億円で1,000棟を取り壊し移動する区画整理は20年目。120億円を投じ、175棟取り壊したが市民が利用できる道路はない。地域人口3,400人が2,300人まで減少した。市財政圧迫要因でもあり、検証会議の提言を受け、事業費、移転棟数の削減、事業面積縮小の検討を始めた。即刻の見直しを期待しつつ、現事業は認めない。

<世論>

反対

高すぎる国保税は認められない

負担が重すぎる保険税は一層引き上げられ、両親40歳以上、子供2人の所得300万円の4人世帯では、保険税は43万9,500円。これは所得の14.7パーセントにのぼる。日常生活に不可欠な食料品の値上げが今も続き、都道府県知事連合会も国保税は高すぎると国に1兆円の補助を要請している。よって、決算も反対する。

<日本共産党>

議案審議

■第3回定例会（9月）に市長から提出された議案は、決算認定7件、条例に関する議案5件、補正予算案6件、その他の議案4件、あわせて22件を認定・可決・同意しました。

■審査した陳情5件は不採択となりました。主な議案の概要は次のとおりです。

市長提出議案

■ヒノトントンZOOの入園料と駐車場使用料を改定

羽村市動物公園条例

【主な内容】 動物公園と駐車場について、より一層の効率化を図るため、管理運営を同一指定管理者が行うことができるよう、動物公園条例と駐車場条例を統合。また、受益者負担の適正化を図る観点から、羽村市使用料等審議会の答申に基づき、動物公園入園料及び駐車場使用料を改定するため、条例の全部を改正するものです。

【施行日】 公布の日及び令和6年4月1日

【議決結果】 原案可決

質疑

Q 料金改定による影響額は。

A 入園料の改定で、678万7770円、駐車場料金の平日の有料化で、374万9300円が増額する見込みとなっている。

Q 料金改定を行い、18歳未満は入園料が無料となるが、現在の利

用者割合は。

A 主な収入割合では、現在の大人料金が79・5パーセント、小・中学生が4・27パーセント、4歳以上が1・96パーセント、シニアが3・08パーセントとなっている。18歳未満の方の居場所づくりを努めていきたい。



ヒノトントンZOO

■教育委員会委員の任命に同意

教育委員会委員の任命について

委員の任期満了に伴い、羽村章氏を委員に任命するために議会の同意を求めるものです。

【任期】 令和5年10月1日～令和9年9月30日

【議決結果】 原案同意



■スイミングセンターの使用料を引上げ

羽村市体育館管理運営条例の一部を改正する条例

【主な内容】 受益者負担の適正化を図る観点から、羽村市使用料等審議会の答申に基づき、スイミングセンター使用料を改定するため、条例の一部を改正するものです。

【施行日】 公布の日及び令和6年4月1日

【議決結果】 原案可決

■質疑

Q スイミングセンター利用者数のうち、市内の方の割合は。

A プールが63パーセント、トレーニングルームが82パーセント、サウナが77パーセントである。

Q 改定した場合の影響額は。

A 456万3000円の増額を見込んでおり、現在の収入の約27パーセント増になると考えられる。料金改定した場合、他市と比較してどうなるのか。

A プールの使用料金は、多摩26市の平均が397円であり、2番

目に高額となるが、トレーニングルームの使用料は2番目に安い料金となる。

Q 光熱費等の高騰の影響額はどのくらいか。

A コロナ前の平成30年度が3500万円に対し、令和4年度は5400万円である。

■討論

【反対】 物価高騰の中での値上げは避けるべきであり、反対。

【賛成】 光熱費等高騰に対し、受益者負担の観点から値上げを行うことは妥当であり、賛成。
(公明党)



スイミングセンター

■エネルギー価格等高騰対策助成金やゆとりぎの第二・第四駐車場の撤去費用などを計上

令和5年度羽村市一般会計補正予算(第4号)

【主な内容】 歳入歳出それぞれ9億7937万2000円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ251億7524万9000円とするものです。

【施行日】 公布の日

【議決結果】 原案可決

■討論

【賛成】 市の重要な施策の更なる充実を期待する。駐車場の廃止には市民への説明と対応を求め、賛成。
(新国会)

【賛成】 市民の福祉向上に寄与する事業が盛り込まれた予算であると評価。駐車場の廃止は安全対策を図ることを求め、賛成。(公明党)

【賛成】 駐車場の廃止は市の財政、利用状況から妥当であり、賛成。
(令和かがやき)

【賛成】 生活応援事業補助金の取組み方法や駐車場撤去にあたり、丁寧

な対応を求め、賛成。(日本共産党)

■博物館法改正に伴い文言を修正

羽村市郷土博物館条例の一部を改正する条例

【主な内容】 博物館法の一部を改正する法律の施行に伴い、条例の一部を改正するものです。

【施行日】 公布の日

【議決結果】 原案可決

■質疑

Q 羽村市郷土博物館は「登録博物館」、「博物館相当施設」、「博物館類似施設」のどれに該当するのか。

A 登録博物館に指定されている。

Q 登録博物館の役割として、所蔵資料のデジタル化や地域と連携した事業への努力義務があるが、どう取り組んでいくのか。

A 将来的な所蔵資料のデジタル化を見据え、調査研究していく。地域との連携は、観光協会と連携した事業も実施しているところであり、法改正の趣旨に則り、運営を行っていく。

※内容は要約しています。詳細はインターネット録画中継(9月12日・9月29日分)をご覧ください。

■市長提出議案の議決結果

＜第3回定例会(9月)で全会一致となった議案＞

件名・概要	議決結果
羽村市郷土博物館条例の一部を改正する条例 →P11	原案可決
羽村市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 →地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の改正に伴い、条例の一部を改正する。	
羽村市児童遊園条例等の一部を改正する条例 →公の施設の条例における指定管理者の管理に係る条文等を整理するため、関係条例の一部を改正する。 【改正する条例】羽村市児童遊園条例、羽村市立公園条例、羽村市農産物直売所条例、羽村市弓道場条例、羽村市水上公園条例、羽村市生涯学習センターゆとろぎ管理運営条例	
羽村市動物公園条例 →P10	
令和5年度羽村市一般会計補正予算(第4号) →P11	
令和5年度羽村市一般会計補正予算(第5号) →歳入歳出それぞれ1,177万9千円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ251億8,702万8千円とする。	
令和5年度羽村市国民健康保険事業会計補正予算(第1号) →歳入歳出それぞれ1億8,809万5千円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ61億1,439万5千円とする。	
令和5年度羽村市後期高齢者医療会計補正予算(第1号) →歳入歳出それぞれ1,915万1千円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ15億1,695万1千円とする。	
令和5年度羽村市介護保険事業会計補正予算(第1号) →歳入歳出それぞれ1億878万7千円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ42億5,248万7千円とする。	
令和5年度羽村市福生都市計画事業羽村駅西口土地区画整理事業会計補正予算(第1号) →歳入歳出それぞれ4,928万円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ15億9,978万円とする。	
令和4年度羽村市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について →令和4年度羽村市水道事業会計未処分利益剰余金3億8,618万8,245円のうち1億5,440万3,691円を減債積立金に積み立て、2億3,178万4,554円を資本金に組み入れる。	
羽村市と青梅市、福生市および瑞穂町との間の証明書の交付等の事務委託の廃止について →羽村市と青梅市、福生市および瑞穂町との間の戸籍証明書の広域交付等事務について、通信回線のサービスが終了すること、また、全国での戸籍事務内連携が本格稼働することにより、戸籍証明書等の広域交付が可能となることから、協議により規約を定め、事務委託を廃止する。	
損害賠償額の決定及び和解について →山梨県北杜市の旧羽村市自然休暇村敷地内において、市が管理する樹木が倒れ、解体工事のために駐車していた自動車を破損させた事故に対する損害賠償額を決定し、和解する。	
教育委員会委員の任命について →P10	原案同意

凡例

■各会派の賛否■

議案／

○…賛成

×…反対

陳情／

○…採択

×…不採択

■会 派 名■

新…新政会

公…公明党

令…令和かがやき(立憲・無所属)

共…日本共産党

ネ…市民ネットワーク

都…羽村市議会都民ファーストの会

世…世論

双…双葉会

<第3回定例会(9月)で賛否の分かれた議案>

件名	会派名 (数字は人数)								議決結果
	新	公	令	共	ネ	都	世	双	
	(6)	(4)	(2)	(2)	(1)	(1)	(1)	(1)	
羽村市体育館管理運営条例の一部を改正する条例 → P11	○	○	○	×	○	○	○	○	原案可決

<令和4年度決算認定の議決結果>

件名	会派名 (数字は人数)								本会議での 議決結果
	新	公	令	共	ネ	都	世	双	
	(6)	(4)	(2)	(2)	(1)	(1)	(1)	(1)	
一般会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
特別会計									
国民健康保険事業会計歳入歳出決算	○	○	○	×	○	○	○	○	
後期高齢者医療会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	
介護保険事業会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	
福生都市計画事業羽村駅西口土地区画整理事業会計歳入歳出決算	○	○	○	○	×	○	×	○	
水道事業会計決算	○	○	○	○	○	○	○	○	
下水道事業会計決算	○	○	○	○	○	○	○	○	

陳情の審議結果

件名	審査した 委員会	会派名 (数字は人数)								本会議での 議決結果
		新	公	令	共	ネ	都	世	双	
		(6)	(4)	(2)	(2)	(1)	(1)	(1)	(1)	
第8期介護保険事業最終年度末における介護保険給付準備金保有額の第9期介護保険事業計画への繰入について陳情書	文教厚生 委員会	×	×	×	○	○	×	×	×	不採択
「改正マイナンバー法を見直し、健康保険証の存続を働きかける意見書提出を求める請願署名」を政府に送付することを求める陳情書		×	×	○	○	○	×	○	×	不採択
健康保険証の存続を求める陳情書		×	×	○	○	○	×	○	×	不採択
現行の健康保険証を残す意見書を国へあげてをを求める陳情		×	×	○	○	○	×	○	×	不採択
指定管理者に係る違法な条例の改正を求める件	総務 委員会	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択

会派名簿

新政会

さくらざわ 櫻沢	ひろと 裕人	いけざわ 池澤	あつし 敦
のぶき 野崎	かずや 和也	あきやま 秋山	よし のり 義徳
たかだ 高田	かずと 和登	とみまつ 富松	たかし 崇

公明党

かねこ 金子ひとみ	なかじま 中嶋勝	とみなが 富永訓正	いし 石居尚郎
--------------	-------------	--------------	------------

**令和かがやき
(立憲・無所属)**

おおつか 大塚あかね	はせひら 馳平耕三
---------------	--------------

市民ネットワーク

もんま 門間	ひでこ 淑子
-----------	-----------

世論

やまざき 山崎	よういち 陽一
------------	------------

**羽村市議会都民
ファーストの会**

はまなか 濱中	としお 俊男
------------	-----------

双葉会

かん 菅	ゆうしん 勇真
---------	------------

日本共産党

はまなか 浜中	じゅん 順
すずき 鈴木	たくや 拓也

◆会派とは、政治上の主義や政策が同じ議員の集まりで、議会活動を行う上での基礎となります。

般質問

一般質問とは、議員が市の施策の状況などについて質問することです。

第3回定例会では、

9月5日、6日、7日の3日間にわたり

17人の議員が一般質問を行いました。

その要旨をお伝えします。

※原稿は、議員自身が要約し作成しています。

※答弁内容は、9月時点のものです。



《Q》 带状疱疹ワクチン助成の考えはないか

《A》 今次定例会に経費を計上した補正予算案を提案した



濱中 俊男 議員（羽村市議会都民ファーストの会）

带状疱疹

ワクチン助成について

質問 助成する考えはないか。

市長 今次定例会に带状疱疹ワクチン任意接種補助事業に要する経費を計上した補正予算案を提案している。

質問 予算はどのくらい必要か。

市長 予防接種委託料や予防票印刷製本などの経費として1027万円である。

はむらん「羽村市役所」バス停への屋根付きベンチ設置について

質問 羽村市役所バス停に屋根付きベンチを設置できないか。

市長 道路占用許可基準に照らすと、歩道の有効幅員

が確保できないため、円滑な通行の確保の観点から設置できない。
清流地区への投票所設置について

質問 清流地区へ投票所を設置できないか。

選管事務局長 国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律で、投票所から選挙人の住所までが3キロメートル以上ある地区の解消に努めることとしている。

清流地区は約1・5キロメートルのため、設置の考えはない。

質問 期日前移動投票所の実施や、投票日にバス送迎できないか。

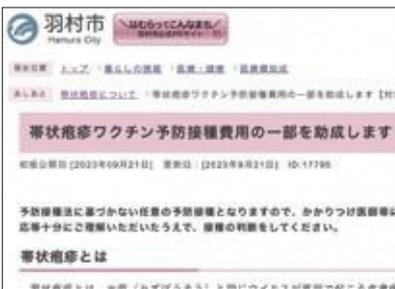
選管事務局長 現時点では考えていないが、投票所の近くまで「はむらん」をご利用いただければと考えている。

■その他の質問

成分献血への理解向上について

そのほかの質問

成分献血への理解向上について



带状疱疹ワクチン任意接種補助事業紹介ページ(市公式サイトより)



《Q》児童等の見守りサービスを導入してはどうか

《A》他自治体の事例を情報収集し調査・研究する



櫻沢 裕人 議員 (新政会)

市民の安全について

質問 社会構造が変化する中、犯罪等の防止に効果的な地域の目をどう確保するか。

市長 NPO法人パトロールセンターはむらなどと緊密に連携し、地域の目を確保する。

質問 無線技術を利用した情報の伝達手段であるビーコンを活用して通学路上の児童の位置を保護者に通知している自治体がある。児童の見守りだけでなく、高齢者等の見守り等、さまざまな場面で活用可能なため導入しては。

市長 他自治体での導入事例を情報収集し、活用方法



パトロールセンターはむらの活動の様子

や有効性等について調査・研究していく。

災害時の行政の対応や備えについて

質問 災害時に利用可能な避難所の公衆無線LANサービスの運用方法は。

市長 各避難所を担当する市職員が端末を立ち上げ、避難した皆さまにご利用いただく。同時接続可能端末数や通信速度の関係から、状況に応じた譲り合いなど、注意事項を周知し混乱なく利用できるよう対応していく。

質問 災害に強い衛星系ネットワークの整備は。

市長 東京都の地域衛星通信ネットワークを利用する。

質問 災害時に、LINEの市公式アカウント（令和5年度運用開始予定）を活用した災害情報の発信等を行っている。

市長 市公式アカウントのシステムの提供事業者を選定する中で、実現可能か確認し検討する。



《Q》将来の学校教育のビジョンを示すべきでは

《A》今年度中に基本的な考え方をまとめ公表する



石居 尚郎 議員 (公明党)

少子化、幼児教育、学校教育の未来は

質問 学区の見直しなど、先を見越した人口推計に基づく将来の学校教育のビジョンを示すべきではないか。

教育長 現在、市内小・中学校の適正規模及び今後の学校の在り方について協議している。今年度中には基本的な考え方をまとめ公表する。

質問 幼児教育強化のために、より民間との連携強化を。

市長 引き続き、国や東京都の財源などの活用を図りながら、事業者の運営支援と連携強化に取り組んでいく。

水害対策の強化を

これまで重ねて質問をし



中学校体育大会で走者を応援する生徒たち

てきたことの、その後の経過について質問した。

質問 「まるごとまちごとハザードマップ」の状況は。

市長 浸水想定区域内にお住いの皆さまの意見も聞き、水防災に関する標示の取組みについて検討していく。

質問 清流地区における、あきる野市との防災連携の強化を提案してきた。その後の進展はあったか。

市長 あきる野市と協議を行い、災害時に清流地区にお住いの皆さまが、あきる野市の指定避難所を利用することが可能であることを確認している。今後もある野市との防災に関する連携を一層深めながら、清流地区の防災対策の強化を図っていく。



《Q》 孤立をなくすための体制を構築できないか

《A》 見守り体制等の充実を図り、対策を検討していく



金子 ひとみ 議員（公明党）

誰もひとりぼっちにしない
まちづくりをめざして

加速する高齢化社会等で高齢者のみ世帯、一人暮らし、晩婚化などの社会的孤立が拡大し、町内会・自治会の加入率も低下する中で、相談や見守り体制について質問した。

質問 社会サービスとつながりもなく、相談等の接点のない市民がどれ程いると認識しているか。

市長 多様な行政サービスや相談体制の周知に努め、市民一人一人に伝えるべく取り組んでいるが、人数を把握するのは難しいと捉えている。

質問 町内会・自治会の加入率が減少している。困り



町内会・自治会の入会案内チラシ

ごと相談や近所の見守り等が手薄になってきている。具体策は。

市長 町内会・自治会は、地域コミュニティの中核を担う重要な組織であり、町内会連合会と連携し、加入促進に向けた支援を進めている。民生・児童委員や友愛訪問員による訪問活動や地域包括支援センターでの総合相談、市内の事業者と連携した見守り活動の充実を図っていく。

質問 市民や各団体と連携し、孤立をなくすための地域相談・見守り体制を構築できないか。

市長 多岐に渡る分野において支援相談を行っている。今後も取組みを推進し、支援や見守り体制の充実を図るとともに、地域住民や団体等と連携した孤独・孤立対策についても検討していく。



《Q》 「らんまん」のモデルに関する郷土博物館展示の評判は

《A》 総じて好評であったと捉えている



高田 和登 議員（新政会）

自然観察会で観光振興を

NHK連続テレビ小説「らんまん」のモデルである植物学者の牧野富太郎氏が、100年前の大正12年8月26日に植物採集のため羽村を訪れていた。このことから羽村市観光協会は羽村来訪100年記念事業を実施している。

質問 自然観察会「牧野博士が羽村で採集した植物を探して」の申込者の人数は。

市長 50人参加し、申し込みをした全員が参加したと聞いている。

質問 記念講演「牧野富太郎の生涯と植物観察の楽しみ」の申込者数と参加者数は。

市長 79人が申し込み、72



郷土博物館で実施された植物標本展示

人が参加したと聞いている。
質問 郷土博物館で実施された牧野氏に関する植物標本の展示の評判は。

教育長 総じて好評であったと捉えている。

質問 「新版はむらの植物ガイド」「新版はむらの野鳥ガイド」「はむらの昆虫ガイド」の販売実績は。

教育長 それぞれ1316冊、1010冊、626冊である。

口腔ケアのさらなる啓発を

質問 保健センターで開催された「ムシ歯の誕生日」記念講演会の受講者の人数は。

市長 47人とのことである。

質問 口腔ケア啓発のため、受講者数を増やす工夫をしては。

市長 周知期間を長く設定するなど多くの方に参加いただけるよう工夫する。



《Q》福祉センター等福祉避難所を一次避難から開設しては
《A》福祉センターは指定避難所の開設に合わせて開設する



中嶋 勝 議員 (公明党)



指定避難所へ一時避難することなく、避難できる福祉センター

実効性ある
個別避難計画について

質問 ※避難支援等実施者が見つかからない場合、地域で調整する場を設け、サポートしては。

市長 避難支援等実施者の確保は必須である。福祉関係者等と連携した会議体の設置も検討していく。

質問 先進事例や研修、専門家の派遣受入れ等、より積極的な作成の進展をしては。

市長 今後、計画作成の加速化が課題であるため、迅速に進める方法を検討する。

質問 福祉センター等の福祉避難所を一次避難から開設しては。

市長 福祉センターは指定

避難所の開設に合わせて開設する。

質問 指定避難所で未設置の小学校の体育館へのエアコン導入を急ぐべきでは。

教育長 近年の異常な気温上昇、また避難所としての使用も踏まえ、空調設備の設置を検討していく。

災害ケースマネジメント
について

質問 被災時、弁護士や保健師等の専門家チームで早期自立への支援をする取組みである、災害ケースマネジメントを平時の今から、体制整備しては。

市長 きめ細やかな被災者支援ができるよう、調査研究していく。

带状疱疹ワクチン接種費用
助成の早期実施を

質問 市民が望んでいる接種費用助成の早期実施を。

市長 実施するための必要経費を今次定例会に補正予算案として提案した。

※避難支援等実施者：避難行動要支援者の避難支援を実際に実施する方



《Q》メタバース（仮想空間）での学習支援等の検討を
《A》情報収集を行い実施について検討している



富永 訓正 議員 (公明党)



バーチャル・ラーニング・プラットフォーム(仮想空間)のイメージ
(東京都教育委員会ウェブサイトより)

子ども、子育て世代、若者
向けの重層的支援の拡充を

質問 不登校児童・生徒への支援に向け、フリースクール等との連携、学校内実施の考えは。

教育長 当該フリースクールと情報共有を行い、出席日数や学習の状況などを確認している。必要性が高まっており、情報収集と児童・生徒へのきめ細やかな対応に取り組む。

質問 メタバース(仮想空間)での学習支援等の積極的な検討をしては。

教育長 東京都教育委員会是不登校等の対策として、バーチャル・ラーニング・プラットフォーム事業(仮

想空間)を立ち上げた。情報収集を行い、実施を検討している。

広域連携への
取組みの見える化を

質問 効果的、効率的な行政運営のため、広域連携のさらなる強化で、住民福祉の増進に向けた取組みを進めるべきでは。

市長 圏域に共通する課題解決に向け、効果的な連携・協調が図られるよう積極的に取り組む。

※避難支援等実施者：避難行動要支援者の避難支援を実際に実施する方



《Q》生成AI導入について市はどう考えているか

《A》8月17日から、全庁的な運用を開始した



秋山 義徳 議員（新国会）

市の生成AI活用について

質問 ChatGPTに代表される生成AIについての市の考えは。

市長 生成AIの活用により職員の業務時間の削減や効率化を図ることができ、削減できた時間や労力は、更なる市民サービスの充実に振り向けることが可能となるなどの効果も期待できる。市では、生成AI利用検討会を立ち上げ検証作業を行い、全庁的な活用を推進すべきと意見が一致した。この結論を受け、活用上のルールをまとめた「羽村市生成AI利用方針」を定め、8月17日から、全庁的な運用を開始している。

市内農業の維持・保全・発展について

質問 市内農業と農地を守るための市の取組みは。

市長 生産緑地制度及び特定生産緑地制度の活用、地産地消の推進、安全・安心な市内産農産物の販売の場の提供など、さまざまな支

援に取り組んでいる。今後も、農業経営の継続と都市農地の保全に向けて、農業団体や農業委員会と緊密に連携し、取り組んでいく。

質問 減っていく水田をどう維持していくか。

市長 市内唯一の水田の羽水田は、極めて重要な地域資源である。農業委員会の協力のもと、水田の維持・保全に取り組んでいく。



収穫が近い羽水田



《Q》父親も育児当事者。母親・父親両方の手厚い支援を！

《A》子育て家庭全体を対象とした情報や支援の充実を図る



大塚 あかね 議員（令和かがやき（立憲・無所属））

「父親の育児支援」により手厚い「支援」を求める

男性が育児をすることが当たり前になりつつあるにも関わらず、子育て支援策は母親中心に展開されている。父親への育児支援をより手厚くする必要がある。

質問 父親学級など父親に特化した教育を実施しては。

市長 両親学級等に夫婦で参加する機会を増やしているよう取り組む。

質問 10人に1人が発症する男性の「産後うつ」。対策をとるべきでは。

市長 保健師が父親の精神的な不調を把握した場合には「妊産婦メンタルヘルス相談」の利用を促している。

質問 父親も子育て当事者

である。母親・父親両方の支援施策の展開が必要では。

市長 父親にも十分な情報や支援が行き届くよう、子育て家庭全体の支援のより一層の充実を図る。

公共施設の男性トイレにサニタリーボックスの設置を望む

質問 病気治療の影響や、加齢により尿漏れパットを使う男性は処理に苦慮している。またLGBTの観点からも公共施設の男性トイレにサニタリーボックスを設置しては。

市長 施設の状態を考慮し設置に向けた検討を進めていく。

■その他の質問
「こみ出しサポート事業（仮）」の実施について再度問う



家族写真館(羽村市公式サイトより)



《Q》あさひ公園等公園管理の改善を

《A》指定管理者と連携し、対応に努める



市民の声について

質問 あさひ公園等の枯れ枝、落ち葉、ごみ等の管理の改善を行うべきでは。

市長 市民のニーズに、より柔軟かつ迅速に対応すること、施設や樹木などの適切な維持管理が課題である。指定管理者と連携して対応に努める。

菅 勇真 議員（双葉会）

質問 一人暮らしの高齢者への見守り、安否確認などの支援は。

市長 友愛訪問員の定期的な訪問や民間事業者の協力を得た見守り活動等を行っている。ICT等を活用した見守り事業を行う自治体もあり、新たな見守りや安否確認の方法も検討していく。



集めても撤去されないあさひ公園の枯れ枝

羽村市の教育について

質問 不登校児童・生徒に対する支援と対応策は。

教育長 スクールカウンセラーを全校に配置するとともに、教育相談員やスクールソーシャルワーカーによる巡回相談を実施し、組織的な支援体制の強化をしている。また、別室登校の環境整備を行い、東京都の別室指導支援員配置事業を活用しながら支援体制の強化を図っている。

羽村市の活性化について

質問 若者世代を中心に、羽村の未来について意見を聴取する場を設けては。

市長 はむら若者フォーラム、羽村若者「輝」会議などを開催してきた。若者も対象とした事業を通じて、若い世代の意見を聴取し、市政運営やまちづくりを生かしていく。



《Q》新入部員の募集停止をしている部活動はいくつか

《A》4つの部活動である



鈴木 拓也 議員（日本共産党）

過渡期にある中学校部活動で、廃部などが起きないように特別対策をとろう

部活動の縮小が起きています。今年度、新入部員の募集を停止している部活動はいくつか。

教育長 一中のソフトボール部、三中の文芸部、女子バスケットボール部、陸上競技部の4つである。

質問 学校の枠を越えて合同で活動している部活動はどこか。

教育長 一中、三中のサッカー部である。

質問 外部指導員、部活動指導員は、どう活用されて

いるか。

教育長 外部指導員は技術面の指導を行っている。部活動指導員は実技指導や大会への引率、保護者への連絡などを行っている。

質問 部活動の縮小をまねかないよう、特別対策をとるべきではないか。

教育長 存続が困難な部活動には、地域活動への移行とあわせ、合同部活動の実施を進めている。

共産党市民アンケートでの提案「児童館を中高生の居場所として活用したらどうか」を提案する

質問 提案をどう考えるか。

市長 国が策定を進める「こどもの居場所づくりに関する指針」の内容に応じ、中高生を含む全ての子供たちの居場所づくりについて検討していく。

■その他の質問
情報提供を十分に行わない横田基地・国への対応を強化しよう



《Q》はむら市民と産業のまつりはこれからも秋に開催か

《A》今年度の結果を検証し、開催方法や内容を検討する



馳平 耕三 議員（令和かがやき（立憲・無所属））



「はむら市民と産業のまつり」として開催されることになる産業祭(写真は令和3年度)

市民に親しまれたイベントの変更はより丁寧な説明と今後の方針を示すべき

質問 産業祭に、はむら夏まつりの一部を取り入れるものがあるが、取り入れるものと取り入れないものは何か。

市長 「市民参加」を取り入れたイベントの開催を計画している。現在、具体的な事業内容は検討している。
質問 夏祭りは、本年、多くの自治体で復活し、多くの人が集まり、市民の期待も大きかった。「はむら市民と産業のまつり」として、これからも秋に開催か。
市長 今年度の実施結果を検証し、開催方法や内容な

どについて検討していく。

質問 羽村市市民体育祭について関係者の現状、事業の有効性などから廃止する方向となったのは何故か。

市長 町内会連合会から、3分の1の町内会・自治会が選手の確保や参加者の高齢化に伴う負担感の増大などから参加が難しい意向である旨の報告があり、町内会・自治会を主体とした現行の開催は困難と判断した。
質問 町内会単位の競技主体ではなく、より多くの市民が参加可能な体育祭の開催も可能だったと考えるかどうか。
市長 今後、時代に即した新たな市民参加のスポーツイベント開催について検討していく。

■その他の質問
羽村市史編さん事業はいつまで続くのか／耐震化促進事業充実と防災訓練の在り方の見直しを



《Q》区画整理範囲内の未補修道路も補修すべきでは

《A》道路の劣化状況等を踏まえ補修を行う考えである



浜中 順 議員（日本共産党）



補修予定の羽村駅西側の長岡街道踏切付近

道路の改修・補修の強化を

質問 区画整理範囲内ということで延期されている未補修道路も安全を確保できるように、必要な補修をすべきでは。

市長 道路の劣化状況等を踏まえ補修を行う考えであり、今年度は、羽東一丁目、長岡街道踏切に接する市道第103号線を工事する予定である。

質問 令和4年度までの前の道路整備計画の達成率は何パーセントか。また、その低さの原因は何か。
市長 厳しい財政状況の中で、緊急性、必要性などの優先順位を見極め取り組んだ結果、進捗率は37・8パ

ーセントであった。

区画整理事業は現道を生かして大幅な経費削減・権利者の負担軽減を（第2弾）

質問 検証に基づく基本方針および「提言」に示された①羽村駅西口駅前の優先的整備、②一部地区への区画整理以外の整備手法の導入、③不要移転棟数を増やし事業費を削減する方策の検討は、どう進んでいるか。
市長 仮住まいの方の返地を最優先に事業を実施していく。第一に権利者の負担軽減を考慮し、引き続き検討を進めていく。

質問 9月末に一定の市の方針が出た後に、その方針と今後のあり方について、権利者や市民に対して説明会を開くべきでは。
市長 今後の都市基盤整備の進め方が決定した段階で、必要に応じて検討していく。



《Q》電動キックボードに対する安全対策の周知を

《A》交通安全講習会や広報はむらを通じ周知・啓発していく



野崎 和也 議員（新政会）

道路交通法改正に伴う電動キックボード及びタンDEM自転車に対する安全対策と普及促進について

電動キックボードについて

質問 道路交通法が改正され、電動キックボードのうち、一定の基準を満たすものは、運転免許証が不要だが、ナンバープレートの取り付けが必要となった。認識不足による違法行為の防止や交通安全について、周知が必要では。

市長 交通安全講習会や広報はむらなどを通じて、交通ルールやマナーについて、周知・啓発をしていく。
質問 16歳以上であれば運転ができ、運転免許証は不要である。近い将来、16歳



東京都の電動キックボード安全利用啓発リーフレット

に達する中学3年生を対象とした講習を実施してはどうか。

市長 中学生に対しては各中学校が実施している交通安全に関する指導・教育の中で、電動キックボードの特性やルールなどを周知し、事故防止に繋げていきたい。タンDEM自転車について

質問 視覚障害者の移動手段の幅を広げ、さらに高齢者の健康増進にも期待がされているタンDEM自転車の講習を福祉施設等で実施すべきではないか。

市長 今後の利用状況を注視し講習会開催の必要性について調査・研究していく。

■その他の質問
時代に則した学校プールの在り方



《Q》都市計画決定変更の検討なら権利者の声は反映するか

《A》変更なら公聴会などが定められている



山崎 陽一 議員（世論）

区画整理撤回要求第65弾

質問 厳しい財政状況で事業完了は可能か。

市長 整備手順や事業費削減の方策の検討を進めている。

質問 都市基盤整備の検討が都市計画決定変更なら、権利者の声を反映するか。

市長 都市計画決定変更の法的手続きは公聴会の開催や意見書提出が定められている。

質問 東京都と調整中という。滞るとしたら何が課題か。

市長 現段階で調整はしていない。早期に都市基盤整備の進め方を都に報告する必要がある。

質問 都市づくり公社の理事長は元東京都副知事。公



仮住まい者の移転先使用時期は不明、という事業現場

社への事務費総額とこれまでの支払い額は。

市長 総額約57億円。これまでに約26億円支払った。

質問 現計画で都市計画道路2路線の完了時期と取り壊し移転の棟数は。

市長 移転協議と用地確保を進めているが、完了時期や移転棟数は示せない。

質問 中断移転者の換地先使用が最優先ならば、棟数と使用可能年度は。

市長 昨年度末で175棟移転。使用可能年度は整備状況が異なり示せない。

質問 今年度で実施計画終了。優先道路整備と中断移転者解消には何年かかるか。

市長 市全体の行政運営の中で事業を精査し、優先整備範囲を示していく。年数は一概にお答えできない。

質問 仮に4年間延長なら市費60億円、うち借金35億円。財政悪化の中で可能か。
市長 市全体の行政運営の中で示していく。



《Q》介護保険料の引き上げは避けるべき

《A》具体的な額は審議会答申を踏まえ検討していく



門間 淑子 議員（市民ネットワーク）

誰もが安心して

利用できる介護サービスを

質問 65歳以上、75歳以上の一人暮らしまたは夫婦2人暮らしの世帯数は。

市長 令和2年度の国勢調査結果で、65歳以上の一人暮らし世帯は2883世帯、夫婦2人暮らし世帯は2623世帯。この内、75歳以上の一人暮らし世帯は1607世帯、夫婦2人暮らし世帯は1071世帯となっている。

質問 介護サービスや相談体制について、市民に情報は届いているか。

市長 広報による情報発信、高齢福祉介護課や地域包括支援センターで介護保険の



高齢者への介護サービス

利用手引きを配布し、65歳に達した方には介護サービスの利用案内等を被保険者証に同封して郵送している。

質問 高齢者虐待の事例把握や迅速な対応は。

市長 通報を受けた際は直ちに情報収集と事実確認を行い、緊急性の判断や対応を決定。関係機関と役割分担し、適切に対応している。

質問 施設入所待機者数は。

市長 市民の待機者は、本年7月で特別養護老人ホームが55人、介護老人保健施設が5人である。

質問 今後、介護保険料の引き上げは避けるべきでは。

市長 高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画に定める介護保険料について、審議会で審議している。具体的な額は答申を踏まえ検討していく。

■その他の質問
羽村駅西口土地区画整理事業は、権利者の意見を聞いて見直しを



《Q》電動アシスト自転車の購入補助制度を導入しては

《A》現時点では実施は考えていない



池澤 敦 議員（新政会）

電動アシスト自転車を活用した子育て支援・高齢者の外出支援について

質問 電動アシスト自転車購入補助制度について、過去に「導入する考えはないが、社会状況の変化などがあればまた、違う考えもある」との答弁があった。その後、新型コロナウイルス感染症の影響や物価高騰が続くなど、社会情勢が変化している。補助対象者・補助金額等に一定の条件を設けるなどし、制度を導入する考えはあるか。

市長 個人の移動手段は、ライフスタイルなどによりそれぞれ異なる。現時点では実施は考えていない。
フィルムコミッション事業を推進し、知名度の向上を

フィルムコミッション専用ウェブサイトを開設している近隣市がある。市でも開設すべきと考える。

質問 専用ウェブサイトに

ついて、過去に「独自のサイトをつくることを検討す

る」旨の答弁があった。約10年が経つが、現在の状況は

市長 専用ウェブサイトを開設していないが、市公式サイトにて広報を行っている。羽村市観光協会と連携を図る中で、フィルムコミッション事業の進め方を協議していく。今後はロケーション撮影に適した市内の施設や風景などの動画を活用した情報発信を強化し、フィルムコミッション事業の推進に取り組む。



現在のフィルムコミッションページ
（羽村市公式サイトより）



議会活動報告

市議会議員は、定例会や臨時会のほかにも、各々が所属する委員会や一部事務組合等に
関係する会議や視察、研修などにも出席しています。

令和5年8月1日～令和5年10月31日の主な活動

8月

- 1日 ■ 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会
- 3日 ■ 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第2委員会
■ 東京都市議会議長会理事会・定例総会
- 4日 ■ 令和5年西多摩地域広域行政圏協議会審議会
■ 文教厚生委員会行政視察(三鷹市)
- 16日 ■ 第4回議員全員協議会
- 17日 ■ 文教厚生委員会市民インタビュー(放課後子ども教室)
- 21日 ■ 三多摩上下水及び道路建設促進協議会陳情行動(国あて)
- 24日 ■ 三多摩上下水及び道路建設促進協議会陳情行動(都あて)
- 28日 ■ 第4回議会運営委員会
■ 第1回羽村市議会改革推進委員会

9月

- 5日 ■ 第3回羽村市議会定例会(初日)
- 6日 ■ 第3回羽村市議会定例会(2日目)
- 7日 ■ 第3回羽村市議会定例会(3日目)
- 8日 ■ 第3回基地対策特別委員会
- 11日 ■ 一般会計等予算審査特別委員会(補正予算)
- 12日 ■ 第3回羽村市議会定例会(4日目)
■ 令和4年度一般会計等決算審査特別委員会
- 14日 ■ 第3回総務委員会

- 15日 ■ 第3回環境まちづくり委員会
■ 第5回文教厚生委員会
- 20日～22日
■ 令和4年度一般会計等決算審査特別委員会
- 26日 ■ 第5回議会運営委員会
■ 第2回羽村市議会改革推進委員会
- 28日 ■ 第5回広報委員会
- 29日 ■ 第3回羽村市議会定例会(最終日)
■ 第5回議員全員協議会

10月

- 2日 ■ 西多摩地区議長会議員研修会(瑞穂町)
■ 西多摩地区議長会定例会議
- 4日 ■ 議員研修会(普通救命講習)
- 6日 ■ 基地対策特別委員会行政視察(航空自衛隊横田基地)
- 10日 ■ 第6回広報委員会
- 23日 ■ 第34回東京都道路整備事業推進大会
- 24日 ■ 令和5年第2回東京たま広域資源循環組合議会定例会
- 24日～26日
■ 第18回全国市議会議長会研究フォーラム in北九州
- 30日 ■ 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会
- 30日・31日
■ 環境まちづくり委員会行政視察(静岡県浜松市・長野県飯田市)

ぎかいのトビラ 第143号のお詫びと訂正

第143号(令和5年8月1日発行)の2ページに掲載の市民インタビューのお名前に誤りがありました。正しくは、清家知代さんです。お詫びして訂正いたします。

しぎかいカレンダー

●第4回定例会(12月)の予定●

日	月	火	水	木	金	土
			11/22 陳情メ	23	24	25
26	27 議運	28	29	30	12/1	2
3	4	5 本会議	6 本会議	7 本会議	8 本会議	9
10	11	12 予特 (補正)	13 常任委	14 常任委	15	16
17	18 議運	19	20	21 本会議	22	23

- 陳情メ…請願・陳情の12月定例会審議予定分の締切
- 議 運…議会運営委員会
- 常任委…常任委員会（総務、環境まちづくり、文教厚生）
- 予特（補正）
…一般会計等予算審査特別委員会（令和5年度補正予算）

※会議の予定は変更になる場合があります。
詳細は議会事務局までお問合せください。

議会を見よう！知ろう！

～次の定例会は12月～

以下の方法で議会をご覧いただけます。

- 1 議場で傍聴 ライブで！**
感染症対策により、傍聴者の健康を守る観点から、議場にお越しになる際は、咳エチケットや手指消毒などのご協力をお願いします。
傍聴の受付は、4階議会事務局で行っています。
- 2 ケーブルテレビで生中継**
多摩ケーブルネットワーク(TCN)で、本会議の様子を生中継でご覧になれます。放送日は横のカレンダーをご参照ください。
- 3 インターネットで録画中継**
開催日の3日後(土・日曜日、祝日を除く)から、インターネットで録画中継を見ることができます。
- 4 会議録で読む**
会議終了後2か月程度で会議録ができていきます。冊子または、羽村市公式ウェブサイトから見るることができます。

羽村市公式サイト

<https://www.city.hamura.tokyo.jp/>

羽村市議会

検索



編集後記

9月に開催される定例会は、決算議会とも言われ、前年度決算の審査が行われる。現在、議案などの資料はタブレット端末の中にデータが保存されており、膨大な量の決算資料と事務報告書を確認しながら、質疑や討論を行う。資料を読み込んでいくと、400人弱の羽村市職員が市民のために職務を遂行した証であることを改めて感じる。さらに、過去の会議録を調べていると、当時の職員たちの姿が浮かびあがってくる。3日間にわたり活発な質疑を交わし、決算の審査を行い、すべての会計の令和4年度決算を認定した。これからは市民生活に関わる課題等について、調査、審議を行い、市民が笑顔で過ごせるよう努めていきたい。

(濱中)

【広報委員会委員】

富永 訓正(委員長)
濱中 俊男(副委員長)
池澤 敦 野崎 和也
金子 ひとみ 高田 和登
浜中 順 大塚 あかね

発行/羽村市議会 編集/広報委員会

〒205-8601 東京都羽村市緑ヶ丘5-2-1 Fax 042 (555) 0889
Tel 042 (555) 1111 (内線412~414)



「ぎかいのトビラ」は、再生紙を使用しています。